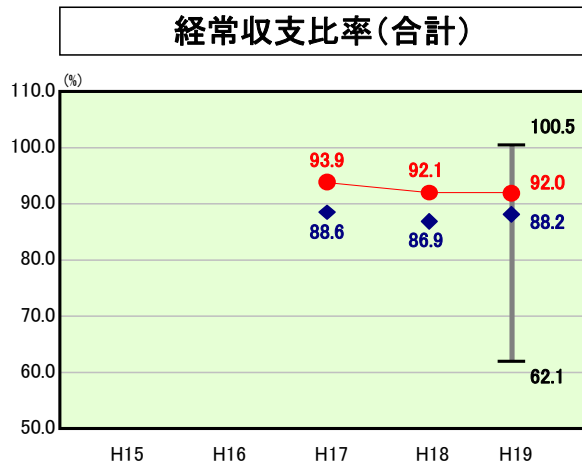


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

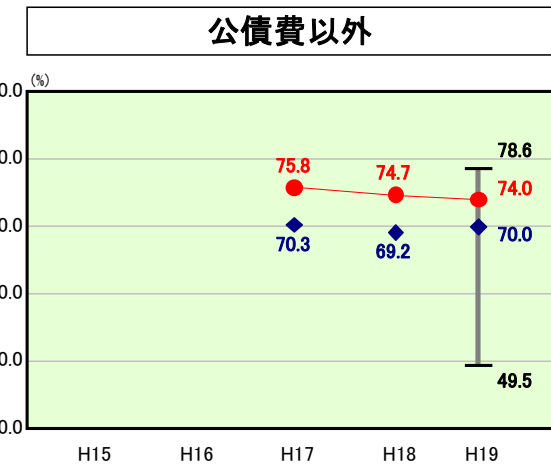
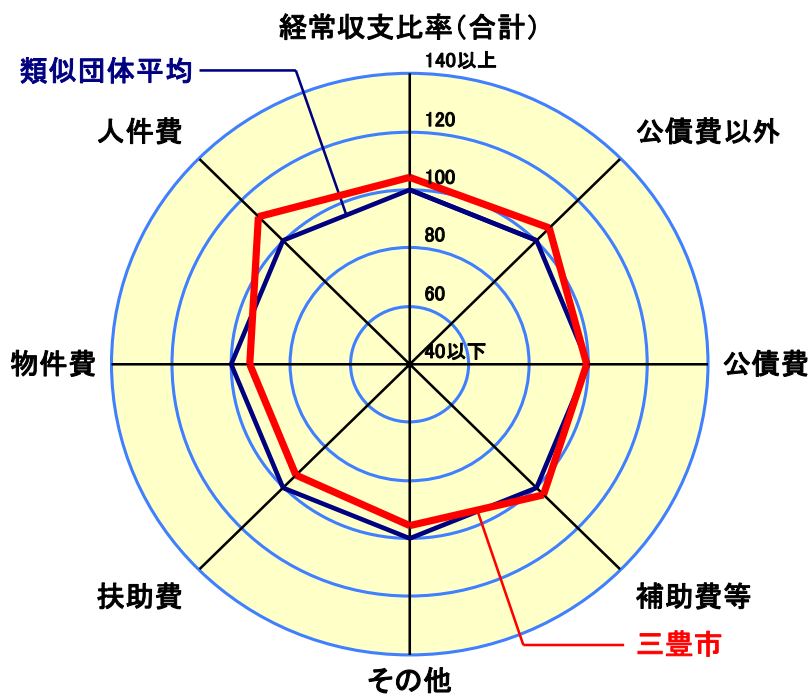
経常収支比率の分析



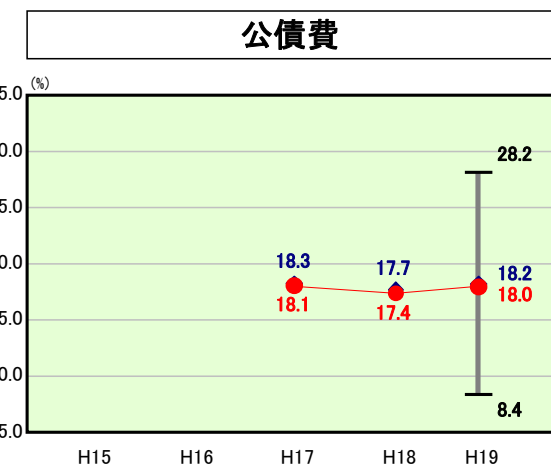
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 L

人口	71,847人(H20.3.31現在)
面積	222.66 km ²
歳入総額	27,596,406千円
歳出総額	26,511,076千円
実質収支	556,464千円

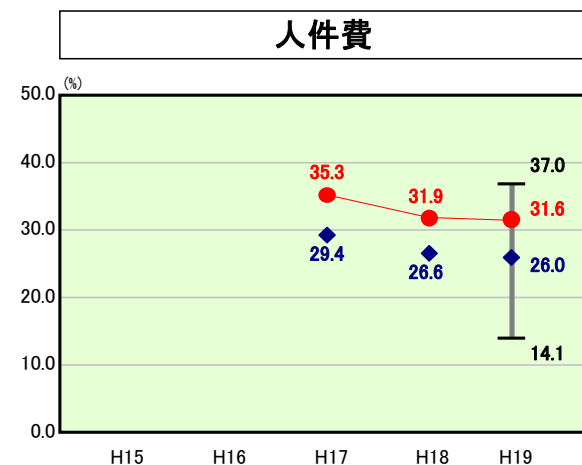
H19類似団体内順位 26/48
全国市町村平均 92.0
香川縣市町村平均 90.8



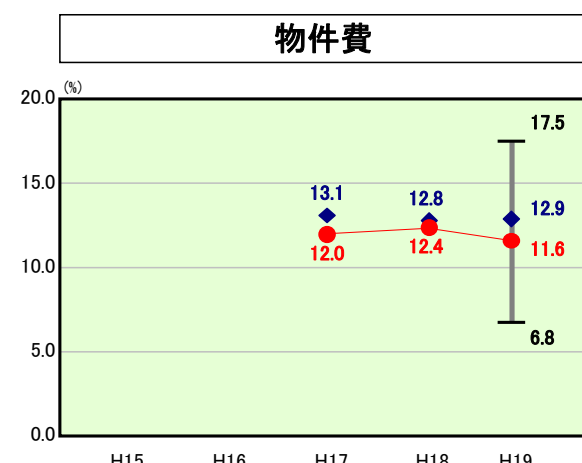
H19類似団体内順位 35/48
全国市町村平均 71.7
香川縣市町村平均 71.2



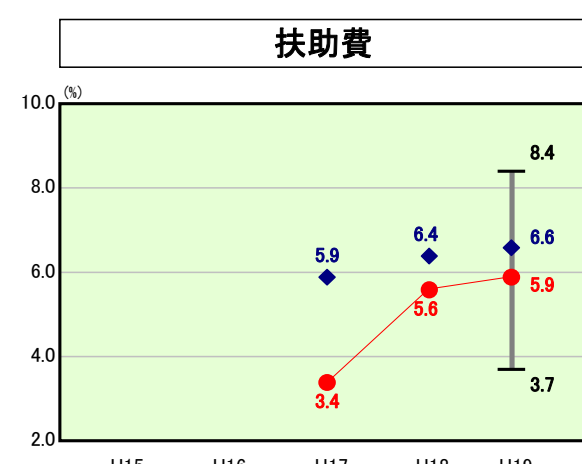
H19類似団体内順位 13/48
全国市町村平均 20.3
香川縣市町村平均 19.6



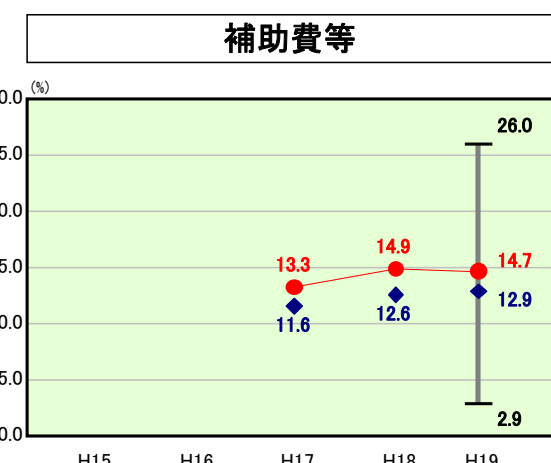
H19類似団体内順位 40/48
全国市町村平均 28.0
香川縣市町村平均 29.7



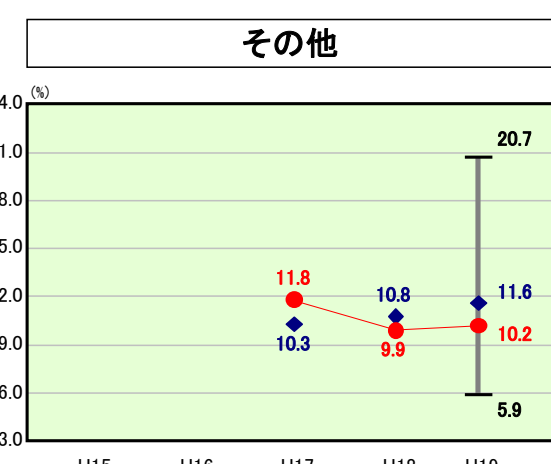
H19類似団体内順位 18/48
全国市町村平均 13.1
香川縣市町村平均 10.6



H19類似団体内順位 19/48
全国市町村平均 8.8
香川縣市町村平均 8.8



H19類似団体内順位 31/48
全国市町村平均 10.4
香川縣市町村平均 9.9



H19類似団体内順位 13/48
全国市町村平均 11.4
香川縣市町村平均 12.2

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費 : 31.6%と類似団体平均より高い水準にあるが、5年間新規採用しない方針の下、定年退職者の減、給与制度の見直し適正化による調整にて、毎年減少している。今後も集中改革プランに掲げた取組の実施により改善を図っていく。

物件費 : 11.6%と類似団体平均より低い水準にある。平成18年度より0.8%の減となった。各事業の見直しと再点検と精査をし、維持管理費等についても前年踏襲するのではなく再度点検と検討を行っていく。

扶助費 : 5.9%と類似団体平均より低い水準にある。平成18年より0.3%増となったのは、児童手当額の引き上げ(3歳以下月額5千円から10千円に引き上げ)によるものである。

公債費 : 18.0%と類似団体平均より低い水準にある。後年度負担の抑制と有利な市債の発行を原則とし、毎年市債の抑制に努める。

補助費等 : 14.7%と類似団体平均より高い水準にある。補助金検討部会の答申による全庁あげての積極的な取り組みを展開し、見直しを行っていく。

その他 : 10.2%と類似団体平均より低い水準にある。今後も税収を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていくよう務める。